

平成28年10月27日

平成28年度「東アジア文化交流使」の決定

文化庁では、このたび、平成28年度「東アジア文化交流使」を決定しましたので、お知らせします。

平成26年11月に開催された「第6回日中韓文化大臣会合」において、日中韓各国が自国の中堅・若手芸術家等を一定期間相互に派遣し、実演やワークショップ等を行う「東アジア文化交流使」を実施していくことが合意されました。

文化庁では、この合意を受け、独立行政法人国際交流基金の協力の下、26年度より本事業を実施しております（事業概要：別紙1）。

このたび、平成28年度「東アジア文化交流使」を以下のとおり決定しましたので、お知らせします（略歴：別紙2）。

（敬称略，50音順）

氏名	プロフィール	活動国	派遣期間（予定）	活動内容（予定）
長田 育恵	劇作家／「演劇ユニットてがみ座」主宰	韓国	平成29年3月上旬	ソウル等において、今後の新作や共同制作に向けた現地演劇関係者との意見交換や調査等を実施する。
笹本 晃	アーティスト	中国	平成28年11月中旬	上海ビエンナーレへの参加に合わせてレクチャー等を実施する。
蓮沼 執太	音楽家	中国	平成28年11月下旬～12月上旬	北京等において、展示やライブ等を実施する。
久門 剛史	美術作家	中国	平成28年12月下旬～1月中旬	上海当代美術館で開催される個展に合わせてレクチャー等を実施する。
宝生 和英	宝生流能楽師 第20代宗家	中国	平成28年12月上旬～中旬	香港等において、能に関するレクチャーやワークショップ等を実施する。
村川 拓也	演出家	中国	平成28年11月上旬～中旬	北京等において、今後の共同制作に向けた現地演劇関係者との意見交換や調査、ワークショップ等を行う。

<担当>長官官房国際課国際文化交流室  
室長補佐 林 保太（内線3166）  
振興係長 是永 寛志（内線3167）  
電話：03-5253-4111（代表）

## 東アジア文化交流使について

## 1. 目的・趣旨

平成26年11月に開催された第6回日中韓文化大臣会合において、日中韓3か国の文化交流を促進するために、日中韓各国が自国の芸術家・文化人等を「東アジア文化交流使」として一定期間派遣し、実演やワークショップ等を通じて自国の文化を広く紹介していくことを決定。

本事業を通じて相互の文化への理解を深化させるとともに、芸術家・文化人等のネットワークの形成・強化を図る。

## 2. 内容

- ・伝統文化から現代文化まで多様な分野の中堅・若手の芸術家・文化人等を、中国、韓国を中心とする東アジア諸国（1か国又は複数国）に派遣し、専門分野に関する実演、実技指導、講演、上映・展示、情報交換等の活動を実施する。
- ・派遣期間は原則として2週間程度とする。
- ・派遣者は1週間に2回以上の活動を行う。

## 【参考】過去の派遣実績

氏 名	プロフィール	活動国	活動内容
平成27年度			
楠木 早紀	競技かるた永世クイーン	中国	かるた・百人一首に関する指導やデモンストレーションを実施
やなぎ みわ	美術作家・舞台演出家	中国	現地アーティストと将来の共同制作に向けた情報交換・トークイベント等を実施
スズキ 拓朗	演出家・振付家・ダンサー	韓国	現地ダンサーとの共同制作・ワークショップを実施
平成26年度			
WASABI	新・純邦楽ユニット	中国	現地の演奏家とのセッションを含む、三味線、尺八、太鼓、箏による演奏会を実施
山田 うん	ダンサー	中国	公演、現地舞踊団等とのワークショップ・共同制作を実施
柴 幸男	劇作家・演出家	中国	現地劇団等とのワークショップ・共同制作を実施
多田 淳之介	演出家	韓国	現地劇団等とのワークショップ・共同制作を実施
池田 卓	音楽家	韓国	三線（沖縄の伝統楽器）の演奏や琉球舞踊を交えた演奏会を実施

## 3. 指名手続

東アジア文化交流使は、独立行政法人国際交流基金や文化交流使事業委員会（※）の助言を受け、文化庁長官によって指名される。

※「文化交流使事業委員会」は、文化交流使事業の適正・効率的な執行を担保するため、文化庁長官の下に置かれる委員会で、関係行政機関、学識経験者等から構成される。

おさだ いくえ  
長田 育恵 (劇作家／演劇ユニットてがみ座) 主宰)

【出生地】東京都

【生年月日】1977年5月18日

【学歴】早稲田大学第一文学部文芸専修

日本劇作家協会戯曲セミナー研修課にて井上ひさしに師事。2009年に「演劇ユニットてがみ座」を旗揚げし、全公演の脚本を手掛ける。『青のはてー銀河鉄道前奏曲ー』(2012)で第16回鶴屋南北戯曲賞に、『地を渡る舟ー1945/アチック・ミュージアムと記述者たちー』(2013)で第17回鶴屋南北戯曲賞と第58回岸田國士戯曲賞にノミネート。そして2016年、3度目のノミネートにして、『蜜柑とユウウツー茨木のり子異聞ー』(2015)にて第19回鶴屋南北戯曲賞を受賞。また、『地を渡る舟』(2015／再演)にて第70回文化庁芸術祭賞演劇部門新人賞も受賞した。



#### 【主な作品】

- 2011 「空のハモニカーわたしがみすゞだった頃のことー」(てがみ座)
- 2012 「青のはてー銀河鉄道前奏曲〈プレリュード〉ー」(てがみ座)  
「落下する鳥」(文学座 文芸研究委員会)  
「乱歩の恋文」(てがみ座)
- 2013 「地を渡る舟ー1945/アチック・ミュージアムと記述者たちー」(てがみ座)  
「凧の樹海」(オフィス コットーネ)
- 2014 「汽水域」(てがみ座)  
「終の楽園」(文学座 アトリエの会)  
「SOU〜創〜」(市川海老蔵第二回自主公演「ABKAI 2014」)
- 2015 「蜜柑とユウウツー茨木のり子異聞ー」(グループる・ばる)  
「夜想曲集」(ホリプロ)  
「当世極楽気質」(兵庫県立ピッコロ劇団)
- 2016 「対岸の永遠」(てがみ座)
- 2017 「燦々」(てがみ座)

#### 【受賞歴】

- 2015 第19回鶴屋南北戯曲賞 受賞  
第70回文化庁芸術祭演劇部門新人賞 受賞

#### 【ウェブ】

<http://tegamiza.net/member/ikueosada.html>

ささもと あき  
笹本 晃 (アーティスト)

【出生地】横浜市

【生年月日】1980 年

【学歴】コロンビア大学大学院美術課程

ニューヨーク在住。10代で渡英,その後米国にて美術,ダンス,彫刻等を学ぶ。個人の心理状況やパーソナリティーの表徴としての癖や習慣に興味を抱くようになり,以後,日常的な行為や手順をテーマにしたパフォーマンス,彫刻,インスタレーションを発表している。非営利団体「Culture Push」の創設者の1人であり,現在ラトガース大学の教授,コロンビア大学とエール大学の講師も務めている。ビジュアルアーティストやミュージシャン,舞踏家,科学者,学者等幅広い分野の人間とのコラボレーションも多数展開し,作品の中で笹本はダンサー,彫刻家,ディレクターとして様々な役割を演じる。



©Photograph by Sean Carroll

【略歴】

- 2008 横浜トリエンナーレ 2008
- 2010 ホイットニー・ビエンナーレ 2010
- 2012 第9回光州ビエンナーレ
- 2013 六本木クロッシング 2013 (森美術館)
- 2015 PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015
- 堂島リバービエンナーレ 2015
- 2016 第11回上海ビエンナーレ
- 第3回コーチ=ムジリスビエンナーレ

【ウェブ】

<http://cargocollective.com/akisasamoto>

はすぬま しゅうた  
蓮沼 執太 (音楽家)

【出生地】 —

【生年月日】 1983 年 9 月 11 日

【学歴】 —

1983 年、東京都生まれ。音楽作品のリリース、蓮沼執太フィルを組織して国内外でのコンサート公演をはじめ、映画、演劇、ダンス、音楽プロデュースなどでの制作多数。近年では、作曲という手法を様々なメディアに応用し、映像、サウンド、立体、インスタレーションを発表し、個展形式での展覧会やプロジェクトを活発に行っている。また、自ら企画・構成をするコンサートシリーズ『ミュージック・トゥデイ』を主催。最新アルバムに『メロディーズ』(2016)、主な個展に『作曲的 | compositions : rhythm』(スパイラル 2016) など。



©後藤武浩

#### 【個展】

- 2012 『have a go at flying from music part3』 東京都現代美術館 ブルームバーグパヴィリオン  
2015 『作曲的 | compositions - space, time and architecture』 青森国際芸術センター  
2016 『作曲的 | compositions - rhythm』 スパイラルガーデン

#### 【主な出版】

- 2014 『音楽からとんでみる』 書籍  
2014 『時が奏でる | Time plays - and so do we.』 CD、レコード  
2016 『メロディーズ』 CD

#### 【主なパフォーマンス】

- 2012 『タイム』 神奈川芸術劇場 (KAAT)、国立新美術館  
2012 『TIME』 神奈川芸術劇場  
2013 『蓮沼執太フィル・ニューイヤーコンサート 2013』 東京オペラシティ・リサイタルホール  
2013 『Music Today on Fluxus 蓮沼執太 vs 塩見允枝子』 国立国際美術館  
2013 『HARAJUKU PERFORMANCE+DOMMUNE 2013』 ラフォーレミュージアム原宿  
2014 『作曲 : ニューフィル』 神奈川芸術劇場ホール・KAAT  
2015 『蓮沼執太のメロディーズ』 ビルボードライブ東京  
2015 『葉山アンビエント』 神奈川近代美術館・葉山館  
2015 『ミュージック・トゥデイ・トーキョー・2015』 Gallery916

#### 【ウェブ】

[www.shutahasunuma.com](http://www.shutahasunuma.com)

ひさかど つよし  
久門 剛史 (美術作家)

【出生地】京都府京都市南区

【生年月日】1981 年 11 月 2 日

【学歴】京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

日常に潜むささやかな事柄から様々な現象や歴史を採取し、音や光、立体を用いて個々の記憶や物語と再会させる劇場的空間を創出している。

2002 年よりアーティストグループ SHINCHIKA にサウンド担当として参加。

本年は、3 月「KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2016 SPRING」での世界初演を皮切りに、世界各国で上演されたチェルフィッチュ新作『部屋に流れる時間の旅』の舞台美術と音を担当したほか、国際的に活躍するアーティスト 80 組が作品を出展する「あいちトリエンナーレ」にも参加し、活躍の場をさらに広げている。

平成 27 年度京都市芸術特別奨励者(2015 年)、日産アートアワード 2015 オーディエンス賞(2015 年)、VOCA 賞(2016 年)。



#### 【主な個展】

2013 「shiseido art egg 久門剛史」資生堂ギャラリー、東京

2014 「Quantize」オオタファインアーツ、東京

2015 「Quantize」オオタファインアーツ、シンガポール

#### 【主なグループ展】

2004 「神戸アートアニュアル 2004 “トナリノマド”」神戸アートビレッジセンター

2012 「雨とクオインタイズ」アンテナメディア(京都)

「六甲ミーツアート 2012」六甲山施設各所

2013 「what(n)ever」コーポ北加賀屋、大阪

「Exchange -種を植える-」国際芸術センター青森

2014 「私の神さま | あなたの神さま」成安造形大学【キャンパスが美術館】(滋賀)

2015 「still moving」元崇仁小学校(京都)

「マテリアライジング展Ⅲ-情報と物質とそのあいだ」京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2015」六甲山

「みえないものとの対話」三菱地所アルティウム(福岡)

「日産アートアワード 2015 ファイナリスト 7 名による新作展」BankART Studio NYK

2016 「VOCA 2016 The Vision of Contemporary Art」上野の森美術館

「primal lines」オオタファインアーツ

「感覚のあそび場—岩崎貴宏×久門剛史」京都芸術センター

「あいちトリエンナーレ」愛知県内各所

#### 【ウェブ】

<http://tsuyoshihisakado.com/>

<http://www.otafinearts.com/ja/artists/tsuyoshi-hisakado/>



ほうしょう かずふさ

宝生 和英（宝生流能楽師 第20代宗家）

【出生地】東京都

【生年月日】1986 年 1 月 8 日

【学歴】東京藝術大学邦楽科卒業

日本東京出身。能楽の一大流派「宝生流」の20代目として生まれる。東京藝術大学邦楽科卒業。伝統的な演出に重きを置く一方、演目の演出や復曲なども行う。また、現代に能楽の価値を生み出すため、能楽師としてだけではなくマネジメント・経營業務も行う。東京、金沢を初め日本各地で活動。また、イタリアを中心とした、海外事業にも力を入れている。

「和の会」「朗読能シアター」主宰。

主要な公演/宝生会定例能・金沢宝生会・富山宝生会・名古屋宝生会・大阪七宝会・九州宝生会・山形庄内能楽堂・静岡新潟能楽公演・靖国神社夜桜能はじめ各地薪能 ほか

鹿児島国民文化祭(2015)・ミラノ万博(2015)・第21回ミラノトリエンナーレ万博(2016)出演・日伊国交樹立150周年事業ジャパン・オルフェオ出演(2016)

【ウ ェ ブ】

<http://hosho-kazufusa.tumblr.com/>



むらかわ たくや  
村川 拓也 (演出家)

【出生地】 —

【生年月日】 1982 年 4 月 2 日

【学歴】 京都造形芸術大学

2009 年まで、地点に演出助手として所属。独立後は演出家として活動を開始し、ドキュメンタリーやフィールドワークの手法を用いた作品を様々な分野で発表している。

【略歴】

2011 『ツァイトゲーバー』(F/T11 公募プログラム)

2012 『沖へ』ドキュメンタリー映画

2013 『羅生門』AAF リージョナル・シアター2013

2014 『エヴェレットゴーストラインズ』KYOTO  
EXPERIMENT 2014

【受賞歴】

2005 ドキュメンタリー映画 『迷と惑』 京都造  
形芸術大学映像・舞台芸術学科奨励賞受賞

【ウェブ】

<http://murakawatakuya.blogspot>

